

議会だより

令和6年11月

No. 128

あさひ

題字は、厚沢部町認定こども園 みちしま 道島 そうすけ 壮祐さん です。



台湾との交流を深める一歩に。日台友好議員連盟を設立



STOP!! ジャガイモシストセンチュウ

～日本一のブランド「あさぶメークイン」を守ろう!～



緑町コミュニティセンター（今後、道の駅の建て替えに伴い、移設予定）

太陽光発電設備等設置工事費など

1億9787万5千円を補正

総額52億4789万円

令和6年第3回定例会が9月10日から11日までの2日間開かれ、補正予算等22件を審議し、いずれも原案どおり可決されました。

補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ1億9787万5千円を追加し、総額52億4789万円となりました。増額された主なものは次のとおりです。

●緑町集会施設新築に伴う土地購入費（2530万円）

●緑町集会施設新築工事実施設計委託料（1180万3千円）

●太陽光発電設備等設置工事費（3819万8千円）

●電気自動車等購入費（1525万2千円）

●予防接種委託料

（1759万8千円）

質疑応答（要旨のみ）

問 太陽光発電設備等設置工事費と電気自動車等購入費の内容は。

中山議員

答 公用車として電気自動車を2台導入し、その電気自動車の充電用に太陽光パネルを設置します。

問 緑町集会施設新築工事実施設計委託料の内容は。

高田議員

答 道の駅の建て替えに伴い、駐車場を現在の緑町コミュニティセンターまで広

げる予定があるので、集会施設の移設が必要となりました。

問 コロナワクチン接種費用助成の内容は。

香川議員

答 0歳～18歳を対象に、一人当たり8300円を助成します。なお、65歳以上と60歳～64歳の基礎疾患をお持ちの方は、自己負担なしで接種を受けられます。

問 有害鳥獣駆除の実績は。

中山議員

答 9月9日現在で、熊が11頭、鹿が89頭捕獲されています。鹿の捕獲数は年々増加しています。

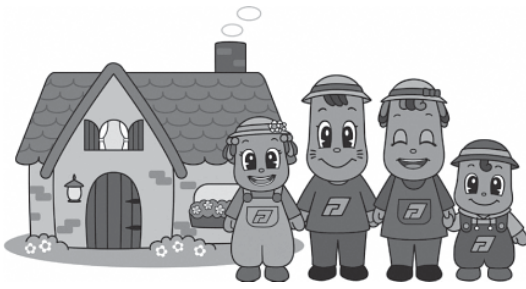
問 プレミアム商品券のプレミアム率が下がった要因は。

山田議員

答 令和3年度～5年度は国からの交付金を使って50%のプレミアム率で行いましたが、今年度は町の財源のみで運用するため、商工会とも協議し、30%のプレミアム率で行うこととしました。

介護保険会計

保険事業勘定は、介護給付費負担金等過年度精算返還金を1995万6千円増額し、6億9913万4千円となりました。



補正予算額一覧表

区分 会計名	補正額	補正後の額
一般会計	1億9787万5千円	52億4789万円
介護保険事業特別会計 (保険事業勘定)	1995万6千円	6億9913万4千円

条例

●厚沢部町表彰条例の一部を改正する条例

刑法の改正に伴い、条例の一部を改正しました。

●厚沢部町国民健康保険条例の一部を改正する条例

国民健康保険法の改正に伴い、条例の一部を改正しました。

人事

●上戸昌行議員の辞任に伴う監査委員の選任について、松村松雄議員を選任することに同意しました。

●任期満了に伴う教育委員会委員の選任について、佐藤祐子さん（本町）を選任することに同意しました。

承認

●令和6年度厚沢部町一般会計補正予算の専決処分の承認

発議

●厚沢部町議会の個人情報情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定

刑法の改正に伴い、条例の一部を改正しました。

報告

●損害賠償の専決処分の報告

●令和5年度健全化判断比率の報告

●令和5年度公営企業会計に係る資金不足比率の報告

●議員定数等調査特別委員会の調査報告

議員派遣

●渡島・檜山管内市町議会議員研修会

目的 分権時代に対応した議会の活性化及び議員の資質向上を図るため。

場所 北斗市
期間 10月10日
議員 全議員

●札幌厚沢部会総会

目的 当町出身者との町政に関する意見交換及び交流のため。

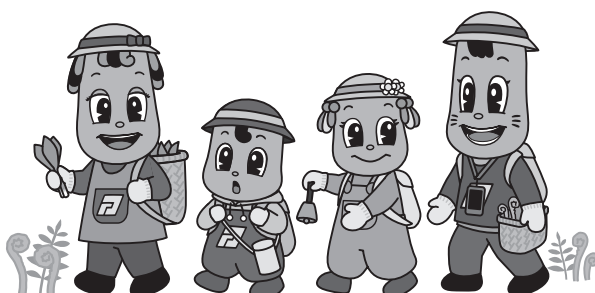
場所 札幌市
期間 10月26日
議員 鈴木 祥司
中山 俊勝
松村 松雄

●産業厚生常任委員会視察研修

目的 農産物（南瓜）の栽培状況、新たな産業・道の駅の調査、子育て・移住対策事業の先進事例を視察し、今

後の行政推進の参考とする。
場所 名寄市、士別市、美深町、東川町

期間 10月28日～30日
議員 高田 一弥
松村 松雄
中山 俊勝
山田 克哉



一般質問

聞いてみたい、こんなこと

J-クレジット制度の取り組みと活用を

佐々木宏議員

関係機関の協力を得ながら
各分野での活用を検討した

佐藤町長



佐々木議員

問

温室効果ガスの排出削減・吸収量を「クレジット」として国が認証し、取引を可能とする制度をJ-クレジット制度と言います。

その制度の一環で、厚沢部町所有のレクの森やたいこ山など、町有林の有効活用方策

答

J-クレジット制度は、省エネ・再エネ設備の導入や森林経営などの取り組みを通じて温室効果ガスの排出削減量や吸収量をクレジットとして認証する制度であり、本町におきましては、公益財団法人北海道環境財団を通じて、「うずら温泉の木質バイオマスボイラー導入事業」として二酸化炭素422トンのクレジット認証を受け、令和5年3月に売却代金34万9360円を受け取っております。

ご質問にあります「森林由来J-クレジット」は、間伐等の森林経営活動による森林の炭素吸収増加量をクレジット化する仕組みであり、クレジットの販売により得られた資金を、森林経営に必要な経費として活用することも可能です。

しかしながら、取り組みを進めるうえでは、認証等の審査や吸収量算定のモニタリングの経費が発生し、これに見合うクレジットが確保できるかも検討していく必要があります。

次に、「水稲の中干し期間の延長」につきましては、直

近2年間の中干し期間の実施日数より7日間以上延長し、所定の審査を受けることで農業者はクレジット収入が見込める制度であり、クレジット支援サービスを提供する企業等を通じて取引が行われております。

この取り組みは、ある程度のまとまった面積や地域で行うことにより農業者の収入確保のひとつとして有用な制度と捉えておりますが、一方で認証等に要する費用が発生すること、さらに、中干し期間の延長による収量の減少や品質低下なども懸念され、経営にマイナスとならないよう注意が必要と考えます。

町といたしましては、ゼロカーボンやカーボンニュートラル達成に向けた温室効果ガス削減の取り組みを進めながら、各分野でのJ-クレジット制度の活用も検討していくこととし、各関係機関の協力を得ながら、制度の周知も図りつつクレジット化可能なものを検討して参りたいと考えております。

～町の議会を傍聴しましょう～

町政はあなたのために

次の定例会は12月です。（詳しい日程はホームページ等でご確認ください）

手続きは、傍聴者名簿に住所・氏名を記入するだけです。

令和5年度

各会計決算を認定

令和5年度各会計の決算認定は、9月10日から11日に審査特別委員会に付託し審議され、全会一致により認定可決されました。

委員会での主な質疑を要約してお知らせします。

一般会計

問 未納の町税の内訳は。

香川委員

答 町民税が6名で88万2千円、固定資産税が8名で17万9千円です。軽自動車税の未納はありません。

問 国営相和事業負担金の今後の収納計画は。

佐々木委員

答 現在の収入未済は7名おり、農地の売買等の財産処分を引き続き行っていく予定です。

問 住宅使用料の収入未済の内訳は。

佐々木委員

答 2名で117万4千円です。

問 町の公式LINEの登録状況は。

香川委員

答 令和5年度末で447名、直近で569名が登録されています。

問 高校生通学定期券購入補助の実績は。

香川委員

答 江差高校に通学する生徒17名が補助を利用しています。

問 「あつさぶ旅行割」の実績は。

香川委員

答 町内の宿泊施設で宿泊代の割引を実施し、宿泊客が6割ほどの増となりました。

また、町内の商店で使えるクーポン券も配付したことから、地域への波及効果もありました。

問 地域力創造アドバイザー政策支援業務委託の成果は。

佐々木委員

答 事業創造株式会社アドバイザーを委託し、地域公共交通計画の策定に携わっていただきました。

問 令和5年度に敬老会を実施した地域は。

山田委員

答 赤沼町内会の1地区だけです。実施できなかった地域の対象者には、町内会から3千円分の商品券を渡してもらっています。

問 南部松山衛生処理組合負担金の算定方法は。

中山委員

答 施設ごとに人口割、実績割、均等割などによって決められます。

現在、新しい処理施設の建設が進められており、建設費を人口割率で各町負担金に加算されることになっています。

問 24時間トイレの安全管理体制は。

佐々木委員

答 駐車場方向を映す防犯カメラは設置されています。身障用トイレが自動ロックされた場合に通報が行くという機能もあります。

問 鶏小学校閉校後の冷房設備の活用方法は。

山田委員

答 まだ冷房設備が設置されていない公共施設があるので、関係部署と協議し、活用を検討していきます。

問 スポーツ少年団全国全道大会参加に対する補助について、現在の物価高騰に合わせて補助率を上げる考えは。

香川委員

答 全道大会と地区大会の整合性を取るとともに、保護者の方、選手の方に負担のないような大会出場助成の見直しを進めていきます。

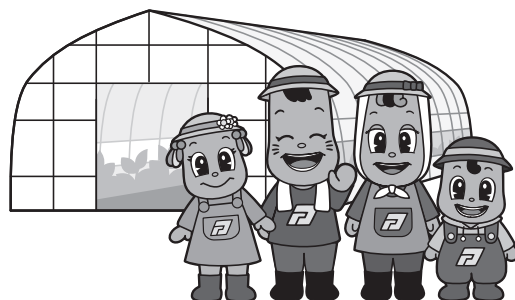
問 農業活性化センターで実施している試験の結果は。

中山委員

答 ホクレンと共同でたい肥施用効果試験を実施しました。試験データを基に、現場

で普及させるための課題を検討しています。

また、栽培方法検討試験では、さつまいもの新品種の増殖等を取り組みました。



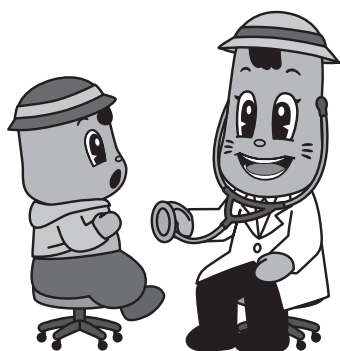
国民健康保険病院事業特別会計 決算審査意見書（抜粋）

令和5年度決算の収支に着目すると、入院・外来ともに患者数・収益が増加したことにより、医業収益の総額は昨年度と比較して増加している。また、資本的収支においては、生理検査システム更新等の器械備品を更新しているが、前年度繰越分であるスプリンクラー設備整備工事費の減少により、決算規模は減少している。また、一般会計の経費負担は従来からの考え方で、建設改良費等については全額を一般会計から負担金として繰り出すこととしているが、施設改修整備費において補助金を活用し、一般会計負担金の減額に努めている。

一般会計からの補助金を除いた収支では、可能な経費節減を行い経営の効率化に取り組んでいるが、2次医療圏への患者流出など患者数の推移に医業収益が大きく左右されるため、短期間で収支改善を図ることは困難であるが、人口減少社会を迎えた現在では、町内だけでなく近隣町からの患者受け入れ確保に尽力されたい。

公的医療機関の果たすべき大きな役割は、地域において提供されることが必要な医療のうち、採算性等の面から民間医療機関による提供が困難な医療を提供することにある。今後は南檜山メディカルネットワークとの連携を深め、厚沢部町国民健康保険病院の存在意義を再認識し、住民が安心して生活できるためにも、地域の公的医療機関の役割を果たしていただきたい。そのために、職員一丸となってより良い医療サービスと提供し、そのことが収支改善にもつながることを望み審査意見とする。

厚沢部町代表監査委員 岩 田 健 二
厚 沢 部 町 監 査 委 員 上 戸 昌 行



各会計決算審査意見書（抜粋）

歳入では、町税、国保税、介護保険料は依然として未納が発生している状況であり、町税及び国保税については、滞納整理機構への引継ぎ等に加え、必要に応じ資産調査や差押え、戸別訪問による折衝を実施しており、徴収率は、全税目、保険料において昨年度と比較して上昇している。固定資産税、国保税については徴収率過去最高値となり、徴収努力が実った結果となっている。

各種負担金等の収納状況は、奨学資金貸付金償還金、公営住宅使用料、上下水道使用料等の未納も発生しており、長期化することのないよう個々の状況を十分に把握し対策を講じるべきである。特に、国営相和地区農地開発事業費過年度負担金は令和5年度末の未納額が、125,135,780円で収入実績は1,696,600円であった。それぞれのケースに応じた処理方針を速やかに定め、整理に向け進めていただきたい。

令和5年度決算状況においては、令和4年度に重点道の駅商業施設建設工事や関連業務といった大型事業が完了したことから、決算額では前年度を下回る結果となった。基金現在高は60億円台を若干下回ったが、北海道市町村備荒資金組合の現在高は約1,272,417千円と健全財政の維持が図られている。

しかし、地方交付税、交付金については国の動向に大きく左右され、現在検討されている小中一貫校である義務教育学校の建設や公営住宅長寿命化計画に基づく公営住宅の更新といった大型事業も控え、全国各地で頻発している大規模災害にも備えておかねばならないことから、財政力基盤の乏しい当町としては、限られた財源の中で適正な予算執行を行い、常に費用対効果を検証し、事業のスクラップアンドビルドを行い、既存事業の見直しを図った上で新規事業を展開することが望まれる。

予算の執行は適正なものと認めるが、各款項目とも不用額が多く、事業や支出科目の性質上予想を立てることが困難なものもあると理解するが、全体として186,699千円と不用額が年々増加していることから、今一度予算積算の精度を高め、適正な執行により不用額の減額に努められたい。そうしたことが、質の高い充実した行政サービスの向上に繋がり、今後も健全な財政運営を堅持されることを望み審査意見とする。

令和5年度 厚沢部町各会計決算

区分 会計名		歳 入 (収 入)	歳 出 (支 出)	差 引 残 額
一 般 会 計		48億8815万8621円	48億10万2334円	8805万6287円
国 民 健 康 保 険 事 業 特 別 会 計		5億4335万4245円	5億2425万366円	1910万3879円
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計		8132万9024円	8132万9024円	0円
介 護 保 険 事 業 特 別 会 計	保 険 事 業 勘 定	6億8254万7868円	6億5932万8572円	2321万9296円
	介 護 サービス 事 業 勘 定	262万9920円	262万9920円	0円
簡 易 水 道 事 業 特 別 会 計		2億4263万1375円	1億1882万595円	1億2381万780円
農 業 集 落 排 水 事 業 特 別 会 計		2億1850万1634円	1億1952万9556円	9897万2078円
国 民 健 康 保 険 病 院 事 業 特 別 会 計	収 益 的 収 入 及 び 支 出	4億9590万3007円	4億9584万3140円	5万9867円
	資 本 的 収 入 及 び 支 出	4438万8568円	4438万8568円	0円

※簡易水道事業特別会計及び農業集落排水事業特別会計は、令和6年4月1日からの公営企業会計方式の適用に伴い、令和6年3月31日をもって終了とする「打切決算」となります。打ち切り時点での未収入・未払金は、収入・支出に含まれていません。

意見書を提出しました

第3回定例会で意見書2件を原案どおり可決し、関係省庁に提出しました。(内容省略)

●道教委「これからの高校づくりに関する指針」(改訂版)を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

提出先 北海道知事、北海道教育委員会教育長

●国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、
国土強靱化担当大臣

委員会活動

議員定数等調査特別委員会

本特別委員会は、議会における適正な議員定数及び議員報酬等について、様々な角度から必要な事項の調査・研究する機関として設置した。

8回にわたる調査を行い、令和5年11月18日には、先進地研修として松前町議会の視察を実施している。

また、町民から意見をいただく機会として、「議員定数等の見直しに係る町民懇談会」を開催し、議員定数、議員報酬、及び議会のインターネット配信について意見をいただいている。

5人であり、当町との大きな差は生じていないことを確認した。

単純に人口規模のみだけでは、議員定数を判断することは難しい状況であり、当町の実状にあった定数が必要と判断し、協議となった。

②「議員報酬」について

報酬についても、定数と同様に先の全国調査を活用した結果では、一般議員報酬月額が全道平均で17万5147円、全国平均では、18万6436円であり、全国平均では1万5千円ほど少ないとの結果であった。

なお、近年は「議員のなり手不足」対策として、議員報酬を引き上げる市町村が増えてきている。特に渡島管内では全体の半数である5町で報酬の引き上げを行っているのが現状となっている。

③「議会のインターネット配信」の実施について

議会のインターネット配信

については、議会報告会においても何度となく問われていたことである。近隣市町村では、渡島管内は全市町での令和6年度からの実施、檜山管内ではすでに今金町・せたな町が実施している。また、江差町においても既存機器の改修の上、本年9月からの実施を目指している状況となっている。

④「議会のデジタル化」について

議会のデジタル化については、松前町議会ではペーパーレス化等を目的に、全議員及び議会出席者を対象にタブレットPCを38台導入し、令和3年度から活用している。しかしながら、導入費用は、PC機器の高騰により高額となる。

また、PC機器(タブレット)の操作などの対応についても考えつつ、方向性を出すこととした。

⑤「議会モニター制度」の導入について

松前町議会での研修視察において確認した制度ではあるが、議会(議員)への関心を

高めていることは確認出来ている。

また、松前町では議会モニターの中から議員も誕生している。

なお、町民からの意見や要望などを広く聴取できる機会であることを確認している。

「議員定数等の見直しに係る町民懇談会」における意見集約

議員定数については、鵜地区で定数2名減にすべきという意見と、定数2名増にすべきという意見があった。下地区及び館地区では特に異論はなかった。

議員報酬については、下地区で一般議員の報酬が21万円程度では、若い世帯は議員報酬のみでは厳しいという意見があった。鵜地区及び館地区では特に異論はなかった。

議会のインターネット配信の実施については、3地区とも概ね好評を得た。

特別委員会としての提言報告

町村議会議員のなり手不足対策検討会の報告書では、『定数とはそもそも、住民の多様な意見を議会に反映する

ため何人の議員が必要か、議会が合議制機関としての機能を十分に発揮するために何人の議員が必要かを出発点として考えるべきであり、選挙戦の実現とは無関係の事柄である。』

と提言されている。

しかしながら、現状では近隣町村においても、定数を削減している結果も出ている。

また、議員報酬についても同じ報告書によると、

『低額な議員報酬の改善はなり手不足対策として非常に重要であるが、目先の選挙戦実現を急ぐあまり、新しい報酬額に見合う活動内容や活動量の裏付けをとらないまま増額に踏み切ってしまうと、住民からの不信感を招く。』

さらに、

『近年では、議員報酬引き上げの代わりに議員定数を減らす議論を行っている議会も散見される。そもそも「報酬や定数の根拠は何か」という根本的な考えが欠如しており、本来、両者は別の問題として議論されるべきものである。』と提言されている。

また、北海道町村議会連合会では、「活動内容を踏まえ

調査内容及び調査結果

①「議員定数」について

全国及び全道における人口3000人台の定数の平均を全国町村議会議長会による「第69回町村議会実態調査(令和5年7月1日現在)」を活用し、定数の全道平均は9・553人、全国平均では9・5

以上のことを踏まえ、本特別委員会として以下のとおり報告する。

本特別委員会として、人口の減少傾向を踏まえ、また、近隣町村の状況を踏まえると、定数は10名から1名減の9名と報告する。

なお、今回の定数削減に伴う常任委員会については、引き続き2委員会体制を維持するものし、現状は議長が選任後において、常任委員を辞退しているが、今後は副議長とともに2つの委員会へ選任指名するものとし、各常任委員会の定数は6名に改正する。

また、本委員会では、今後は、議員定数は9名を維持していくことが望ましいとの結論に至っている。

議員報酬は、平成18年に報酬額の5%削減を実施した以降、見直しはしていない。全国町村議会議長会の報告によると、全国の町村議会におい

そこで今回は「原価方式の

算定モデル（令和4年モデル）」により、現議員活動内容を整理確認した結果、以下のとおり算出された報酬額を基準にされますよう報告要望する。

算定モデルにより、当町の議会議員の活動日数の平均は85日となり、一般議員報酬額は月額21万3千円となり、現行から4万2千円の増額となった。その基本額に議長会が調査している「役職者の議員報酬の実態（令和元年）」に基づき、議長は29万円で6万2千円の増額、副議長は23万5千円で4万1千円の増額、各委員長は21万9千円で4万4千円の増額の報酬額と算定した。

なお、算出の基礎となった議員の活動日数^①については、令和５年中の厚沢部町議会一般議員の活動日数を調査した平均日数である。

当町におけるインターネッ

ト配信については、有効性が確認出来ることから、実施にむけて町へ設置設備導入に係る工事費用の予算措置を要望することとした。

この配信設備導入は、早急な実施が必要であるとの結論から、同委員会終了後の令和5年12月18日に議長、委員長及び議会事務局長が直接、町長及び副町長に映像設備設置

初予算に計上され、令和6年7月末に完成となった。

今後議会としては、配信等に係る運用規定などを整備するとともに、配信に係る操作事務及び配信状況の事前確認をすすめ、令和6年10月1日から同時配信及び録画配信を開始するものとする。

今回視察した松前町議会で

は、過去を含めた議会関連資料がデータ化されて簡単に検索が可能となり、議案等の製

本に係る職員の仕事時間が短縮されるなどのメリットも確認したが、予算書や決算書などの議案書には質問事項や答弁内容を直接記載することが出来ないことや、タブレット本体が高価であることから、特別委員会出席者全員分を用意できないなどの課題も確認した。

よって、引き続き費用並びに運用面などの問題を解決しつつ、引き続き導入に向けた協議が必要と判断した。

議会モニター制度についても、今回視察した松前町議会

では成果を確認出来てはいたが、導入している市区町村も少なく、引き続き制度活用に向けた調査協議すべきと判断し、早期的な導入を見送るものとした。



	議 員	常任委員長	議運委員長	副議長	議 長
算 出 額	213,000 円	219,000 円	219,000 円	235,000 円	290,000 円
現 行 額	171,000 円	175,000 円	175,000 円	194,000 円	228,000 円
差 額	42,000 円	44,000 円	44,000 円	41,000 円	62,000 円
		↑ 1.03 倍	↑ 1.03 倍	↑ 1.10 倍	↑ 1.36 倍

9

主な議会のうごき

(6月定例会後から9月定例会まで)

月日	主 要 事 項
6	議員全員協議会(第1会議室) 議員出席
	議員定数等調査特別委員会(議員控室) 議員出席
	総務文教常任委員会(第1会議室) 委員出席
	産業厚生常任委員会(議員控室) 委員、議長出席
	愛媛県今治市議会行政視察(議員控室) 議長、事務局出席
26	檜山地域振興協議会要望活動(函館市、札幌市) 議長出席
2	全道町村議会議員研修会(札幌市) 議員出席
3	議員研修(苫小牧市) 議員出席
8	第2回檜山広域行政組合議会臨時会(江差町) 山田議員、小野寺議員出席
9	「創造の翼」中学生派遣事業報告会(厚沢部中学校体育館) 議員出席
7	三重県松阪市議会行政視察(認定こども園) 議長、事務局出席
	産業厚生常任委員会所管事務調査(議員控室) 委員、議長出席
	総務文教常任委員会所管事務調査(議員控室) 委員出席
	富山県氷見市議会行政視察(認定こども園) 議長、事務局出席
	広報編集特別委員会(議員控室) 委員出席
9	道南地区森林・林業・林産業活性化推進議員連盟連絡会現地研修会(知内町) 議長、浜塚議員、事務局出席
20	全道町村議会広報研修会(札幌市) 委員出席
22	檜山町村議会定例議長会議(せたな町) 議長出席
8	渡島・檜山町村議会議長連絡会議(せたな町) 議長出席
	令和6年第5回議会議員全員協議会(第1会議室) 議員出席
	議員全体会(第1会議室) 議員出席
	第8回議員定数等調査特別委員会(第1会議室) 議員出席
	第2回国民健康保険事業の運営に関する協議会(第2会議室) 議長、副議長、山田議員出席
9	議会運営委員会(議員控室) 委員、議長、副議長出席
	第3回議会定例会招集(議場) 議員出席

議員辞職

上戸昌行議員から、令和6年9月30日付けで議員を辞職したい旨の辞職届が提出され、議長において、同日付けで辞職することを許可しました。

厚沢部町議会 日台友好議員連盟の設立

9月11日に、台北駐日経済文化代表処札幌分処の粘信士処長をお招きし、厚沢部町議会と台湾との友好促進と関係強化を図ることを目的として、「厚沢部町議会日台友好議員連盟」を設立しました。

本連盟は、賛同する議員をもって組織されており、鈴木祥司議長が会長に就任されました。

本連盟の設立をきっかけに、台湾との友好関係に取り組んでいきます。



議会をYouTubeで配信します

会議を広く町民の皆様に公開し、より開かれた議会を目指すため、厚沢部町議会をYouTubeで配信します。

厚沢部町ホームページの「厚沢部町議会」→「議会中継」から
または、右のQRコードからお入りください。



編集後記

この広報編集特別委員会の委員長を務めてこられた上戸議員が体調不良から、町議会議員をお辞めになりました。この号から、とりあえず私を含めた3名の議員と事務局で、「議会だより」の編集にあたつて参ります。上戸議員とは、年は違えども同期の議員でした。5年前、選挙の事前に行わる説明会で会ったのが、初めてでした。我々にとつて一期目もお互い広報編集委員会でしたが、文章力の高さや編集する能力の高さがピカイチで、自ら進んで原稿の原案を考えてくれたこともありました。二期目となる今期も、お互い広報編集委員会に選ばれ、委員長を決める話し合いの際は、この方しかいないと思ひ、私からお願ひして委員長になつて頂いた次第です。

(か)

□議会広報編集特別委員会

委員長 香川 直樹
委員 山田 克哉
委員 小野寺 孔